

## 「おやこじてんしゃミニ勉強会」開催！

8日(火)、杉並区役所ロビーで、区と株式会社パワーウーマンプラス(代表取締役：北方真起)が、普段、自転車の乗り方を学ぶ機会の少ないママ・パパを対象に、「おやこじてんしゃミニ勉強会」を開催しました。

平成25年に、都内で発生した交通事故は、42,041件で、そのうち自転車が関連する事故は、37%に相当する15,550件の発生となっています。杉並区は、全国でも高い数字となっている都内の平均を上回る39.8%の690件(交通事故発生数1,735件)の自転車が関連する事故が起きています。こうした自転車に関連する事故を減らそうと、区は警察など関連機関とも協力しながら、啓発講座などを開催してきました。

これまでに区は、学校や高齢者団体などへの出前講座を中心に勉強会を行ってきました。また、夜間などに、勤め帰りの方を対象にしたものも開催してきました。しかし、一番自転車を利用する「ママ・パパ」の参加が少ないのが悩みでした。



今日の勉強会は、その「ママ・パパ」を対象とした区では初めての試みとなりました。開催場所となった区役所ロビーには、8名のママ・パパに、就学前の子どもたち8名が集まりました。この世代は、お子さんが小さく、このような勉強会を受けたくても、他人の迷惑になるのではないかと、なかなか受講が難しい状況でした。しかし、この勉強会はそもそも親子連れを想定しているもので、ママ・パパが自転車の安全利用の話に耳を傾けている隣では、子どもたちが折り紙や塗り絵をして遊んでいるといった微笑ましい様子。進行役も、ママとして子育て中という株式会社パワーウーマンプラスの代表取締役の北方真起さんが務め、受講者は子育てでも自転車の安全利用でも共感を得られたようです。北方さんによると、自転車事故は不注意やルール無視が原因のため、ママやパパが子どもたちの模範となるようルールやマナーを守り、子どもたちにも伝えてほしいと話していました。二人のお子さんとともに、勉強会に参加したママは、「自転車に子どもを乗せて利用することが多いので、子どもたちにルール・マナーを教えるつもりで走りたい」と話していました。

この事業は、昨年度から関東・関西を中心に「おやこじてんしゃ勉強会」を開催している同社と区の協働事業として行ったもので、今年度中にこのような自転車利用の多い子育て世代を対象とした勉強会を区内各地で5回ほど開催する予定です。